Carbon Recycling Fund Institute

CO_2を資源として利用し、イノベーション創出に貢献

一般社団法人カーボンリサイクルファンド設立の背景及び趣意

地球温暖化問題については、NOxやSOxなどの大気汚染問題と異なり、地球全体でCO_2排出量を減らしていくことが重要であり、これまでの規制による対策のみでは解決が不可能です。

また、世界の約10億人が、電気の恩恵に供しておらず、エネルギーのアクセス改善が大きな課題となっています。

この様な状況下、CO_2を資源として捉え、カーボンリサイクルイノベーションを推進するというカーボンリサイクル政策が我が国のエネルギー政策の重要な要素となってきています。近年、CO_2が悪者扱いされてきましたが、今後はむしろ積極的にCO_2をカーボン源として利用していき、2050年カーボンニュートラルという目標達成に向けて、一層の努力を行う必要があると考えています。

2019年（令和元年）8月30日に民間ベースで「一般社団法人カーボンリサイクルファンド」を設立し、地球温暖化問題と世界のエネルギーアクセス改善の同時解決を目指し、カーボンリサイクルに係る研究助成活動や広報活動等により、カーボンリサイクルイノベーション創出支援を行うこととしました。

概要

名称：　一般社団法人カーボンリサイクルファンド

設立日：2019年(令和元年）8月30日

主たる事務所：〒105-0003
東京都港区西新橋三丁目2番1号Daiwa西新橋ビル3階

会費種別 (年会費)：
法人会員: 20万円 / 個人会員: 1万円 / 自治体会員：－ / 学術会員：－

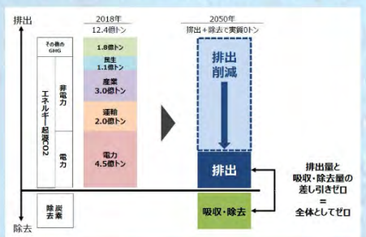
会員一覧
最新の会員一覧は別紙またはホームページをご確認願います

会長	満岡 次郎 ((株)IHI代表取締役会長)
副会長	北村 雅良 (電源開発(株) 特別顧問)
副会長	江口 幸治 (三菱ケミカルグループ（株） 代表執行役シニアバイスプレジデントチーフサプライチェーンオフィサー)
専務理事	橋口 昌道
理事	丹生谷 晋 (出光興産(株) 代表取締役副社長)
理事	須山 千秋
監事	武田 孝治 ((株)IHI 常務執行役員 資源・エネルギー・環境事業領域長)
最高顧問	小林 喜光 (東京電力ホールディングス(株) 取締役会長)
顧問	橘川 武郎 (国際大学 副学長)

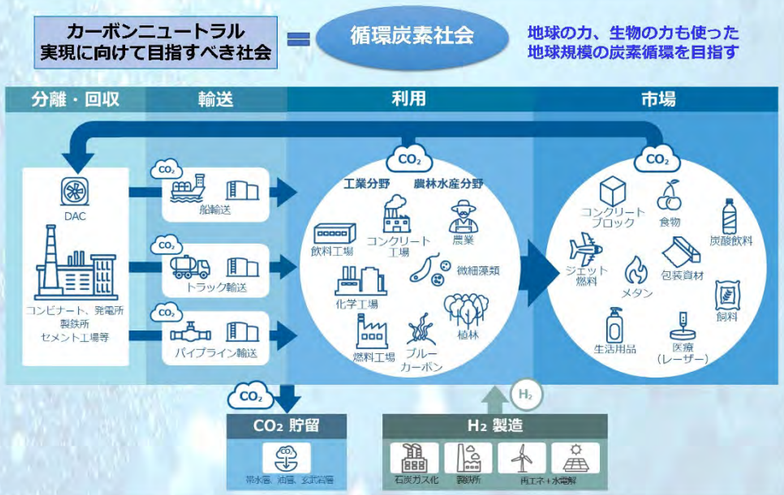
カーボンリサイクルファンドの活動

循環炭素社会の実現に向けて

- **CO_2の排出量と吸収・除去（利用、固定）量をバランス**させることが重要です。
- 排出削減のみならず**CCUS/カーボンリサイクル、森林、海、土壌への吸収**が鍵です。
- CO_2の発生源から回収・輸送・利用・貯留までの**CO_2バリューチェーンの構築**が重要です。



カーボンニュートラルのイメージ
（出典：経済産業省）



©Carbon Recycling Fund Institute. All rights reserved.

活動紹介

(I) 広報活動

Webサイトはじめとする多様な媒体を通じて、国内外の最新の情報を提供するとともに、国際展示会への出展、各種メディアと連携したイベント・シンポジウム・研修会の開催等を行い、カーボンリサイクルに係る啓発活動等の広報活動を行います。

Webサイト等での情報発信

カーボンリサイクル大学

寄付特典

カーボンリサイクル大学とは、課題解決型思考人財の育成を行う教育プログラムです。

- 会員企業から毎年約20名が参加
- スタートアップ企業とのコラボレーション
- 成果発表及び異業種交流

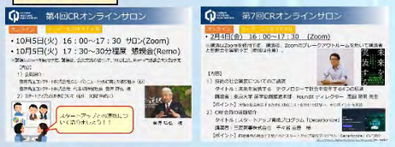
カボ・リサ物語

寄付特典

カボ・リサ物語とは、次世代に向けたカーボンリサイクルの意義・取り組みを楽しく学べるオリジナルストーリーコンテンツです。

カーボンリサイクルオンラインサロン

会員特典



時節に合わせたトピックでオンライン講演会を開催し、カーボンリサイクル/カーボンニュートラルに係る会員間情報共有と議論を行っています。CRF会員限定のプログラムです。

展示会シンポジウム等への参加

寄付特典

循環炭素の意義等をトップから世界へ発信、並びに展示会に参加してCR普及活動をします

北村雅良副会長
スマートエネルギーWEEK2023

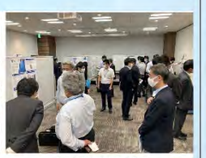
(II)研究助成活動　寄付特典

カーボンリサイクル技術の実用化には、コストの課題、国際競争、基礎的研究への資金等の様々なハードルがあります。課題を乗り越えてイノベーションを創出しようとする研究者やスタートアップに向けて、グラント（助成金）の交付や会員とのマッチング等、研究助成活動を行っています。また、様々な取り組みの社会実験を目的とするワーキング活動を推進しています。

	概要
助成対象	企業、大学、法人等に属する研究者又は研究者チーム 2022年度からは、スタートアップ支援枠を新設
募集テーマ（具体例）	社会的課題を解決するため、CO_2（あるいは炭素原子）を資源として利用するため、関連技術、CRを実現するための社会科学分野等に関する研究 （具体例） ● CO_2分離回収(直接空気回収)・固定化技術(鉱物化等) ● 燃料・化学品へのCO_2転換技術 ● 社会科学やカーボンリサイクル普及に向けた制度設計等の分野 ● 炭素資源(プラスチック等)の循環に係る技術 ● 生物等を活用した技術（細菌・バクテリア・ﾊﾟｲｵﾐﾒｯｸ等含む） ● カーボンリサイクルの価値向上に係る技術 ● CO_2吸収源(土壌、森林・植林、ﾌﾞﾙｰｶｰﾎﾞﾝ、農林水産等)活用によるネガティブエミッション分野 ● その他（水素製造・アンモニア製造、気候変動対応に資する技術等）
評価ポイント	独創性・革新性・従来技術に対する優位性、課題設定の仕方、企業との連携などの社会実現可能性等
助成規模	1,000万円程度/件（平均助成額約700万円/件）
応募・採択件数	2020年度：35件応募→12件採択、2021年度：46件応募→12件採択 2022年度：一般公募55件→14件採択、スタートアップ枠29件→2件採択
研究成果の帰属	基本的に研究者に帰属

✓ 国プロジェクトに繋がる採択テーマも年々増加中です
例）NEDO（新エネルギー・産業技術総合研究機構）、グリーンイノベーション基金、JST（科学技術振興機構）などの国プロジェクト

成果発表・質疑応答の様子


ポスターセッションの様子

研究助成活動　成果報告会の様子(会員特典)

(III)事業支援、政策提言、情報調査等　会員特典

カーボンリサイクルの社会実装・事業化に向けて、事業支援や国のエネルギー・環境・技術開発政策に対する提言等を行っています。また、カーボンリサイクルやCCUSに係る世界の最新ニュースをピックアップし、会員向けに毎週数十本を配信しています。

○カーボンリサイクル社会実装の具体化　（社会実装ワーキング）

- ✓ カーボンリサイクルバリューチェーンを繋ぐ活動を社会実装ワーキングを通して実施
- ✓ 各地方の強みを活かして、地場産業の活性化に資するカーボンリサイクルの在り方を検討

一般社団法人カーボンリサイクルファンド
東京都港区西新橋三丁目2番1号Daiwa西新橋ビル3階
Tel: 03-6432-0011
URL: https://www.carbon-recycling-fund.jp
E-mail: info@carbon-recycling-fund.jp